

虹の輝き

水稻用一発処理除草剤

科研

フォーカスショット

フォーカスショットは(株)エス・ディー・エスバイオテックの登録商標

ジャンボ

早めの処理で
安定した効果



イボクサ



ホタルイ



アシカキ



アゼナ



塊茎

クログワイ



コナギ

特長

- 1 田植当日から使えるジャンボ剤!!
- 2 難防除雑草に高い効果!!
- 3 SU剤抵抗性雑草全般に高い効果!!
- 4 2成分で幅広い雑草に40日以上効果!!



科研製薬株式会社

科研 フォーカスショット ジャンボ



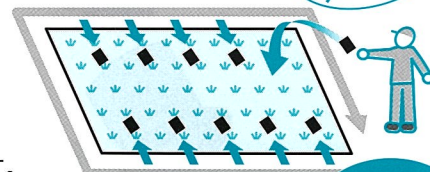
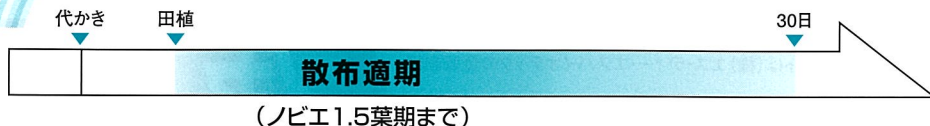
●有効成分：ペントキサゾン…4.0% ベンゾピシクロン…4.0%

使用量

10アール当たり10パック(50g×10袋)の割合で、6～10mの間隔で畦畔から処理してください。

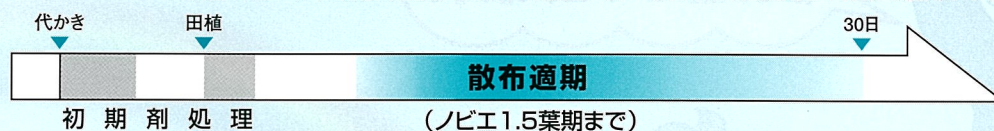
フォーカスショットジャンボの上手な使い方

① 雑草の発生が少ない場合 雑草の発生が少ない水田では、本剤を早めに処理するだけで十分な効果が期待できます。



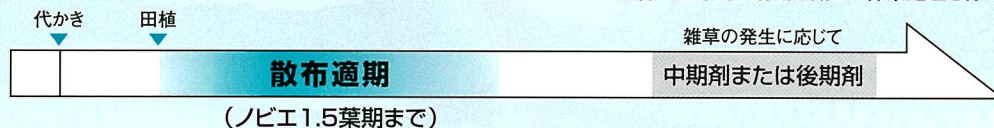
② 雑草の発生が多い場合 作業日程や雑草の発生に応じて以下のような体系処理が可能です。

初期剤との体系処理 仕上げの代かきから田植までの期間を5日以上あける場合や、温暖地の普通期栽培地域等で雑草の葉齢が進みやすく、散布適期を失う可能性が高い場合には、初期剤との体系で使用してください。



50m×20mの水田の場合
10パック

中期剤または後期剤との体系処理 土壌の水持ち等の条件が悪く除草剤の効果が毎年劣る水田や、寒地・寒冷地で水稻の栽培期間が長期にわたり、後半に雑草が発生してきた場合には、発生した雑草の種類に応じて有効な中期剤または後期剤を体系処理してください。クログワイ、シズイ、コウキヤガラの防除は基本的に有効な剤との体系処理を行ってください。



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	総使用回数 [※]	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバイ ホタルイ ミズガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダカ(北海道、九州) ウリカワ(近畿・中国・四国、九州) ヒルムシロ クログワイ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) シズイ(東北) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州)	移植直後～ ノビエ1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土 ～ 埴土	小包装 (パック) 10個 (500g) /10a	本剤のみ 1回 ベンゾピシクロン 2回 ペントキサゾン 2回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入れる	全域の 普通期及び 早期栽培 地帯

⚠ 使用上の注意事項

※印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む、農薬の総使用回数の制限を示す。

- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって、効果にふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは発生始期まで、ウリカワ、クログワイ、コウキヤガラは発生前、ヒルムシロは発生期、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないよう適期に散布してください。
- クログワイ、シズイ、コウキヤガラの防除は有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。また、クログワイの防除は連年施用することによりさらに効果が向上します。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態(水深5～6cm)のまま本剤を水田に投げ入れ、散布後少なくとも3～4日は水深3～5cmの湛水状態を保ち、田面を露出させたり、

- 水を切らしたりしないようにしてください。また、散布後7日間は落水やかけ流しを行わないでください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないよう注意してください。
- 苗が水没するような深水状態では、葉鞘部に軽い褐変症状が出るおそれがあるので、水管理に注意してください。
- れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

この印刷物の記載内容は2008年7月末日現在の登録内容に基づいたものです



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8
http://www.kaken.co.jp